

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●エリザベス女王杯はレガレイラが優勝

11月16日(日)に行われたエリザベス女王杯(GⅠ)ではレガレイラ(牝4歳/美浦・木村哲也厩舎)が1番人気に依って優勝、2歳時のホープフルS、3歳時の有馬記念に依って3年連続のGⅠ勝利を飾りました。勝ちタイム2分11秒0は昨年スタンングローズが記録した2分11秒1を更新するレースレコードでした。

●横山武史騎手がJRA年間100勝を達成

11月15日(土)の5回東京3日・第6レースではマスターソアラが1着となり、同馬に騎乗した横山武史騎手(美浦・鈴木伸尋厩舎)は、本年5人目、自身にとっては5年連続5回目となるJRA年間100勝を達成しました。

●栗田徹調教師がJRA通算300勝を達成

11月16日(日)の3回福島4日・第1レースではドナシェーンが1着となり、同馬を管理する栗田徹調教師(美浦)は、現役71人目となるJRA通算300勝(延べ3812頭目)を達成しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●鎌倉記念は北海道の無敗馬ベストグリーン【各地の2歳重賞】

鎌倉記念(10月15日、川崎、1,600^円)は、5番手前後から差を詰めた北海道からの遠征馬ベストグリーン(牡、父スマートファルコン)が直線に入って間もなく抜け出して4馬身差で圧勝、単勝1.4倍の支持に依ってデビュー以来の連勝を4に伸ばしました。金沢シンデレラC(10月12日、金沢、1,500^円、牝馬)は、中団を進んだ1番人気の兵庫からの遠征馬ココキュンキュン(父エポカドーロ)が残り200^円を切った辺りで先頭に立ち、園田プリンセスCから重賞を連勝。ネクストスター佐賀(10月13日、佐賀、1,400^円)は、6番手から徐々に進出した3番人気のサキドリトッケン(牝、父トゥザワールド)がゴール前で差し切り、こちらも九州ジュニアチャンピオンに続く重賞2連勝を達成。ネクストスター笠松(10月23日、笠松、1,400^円)は、中団から追い上げて4コーナー手前で前を捉えた単勝1.8倍で断然人気のヨサリ(牡、父ディーマジスティ)が無傷の4連勝を果たしています。

●ホウオウルーレットが有力、11月26日の浦和記念(浦和)

浦和記念(JpnⅡ、11月26日、浦和、2,000^円)は、シリウスSの覇者ホウオウルーレットが中心、ロードクロノス、クラウンプライドが続き、デルマソトガケ、スレイマン(大井)までが争覇圏内と考えられます。

●11月27日の兵庫ジュニアGPにトウカイマシェリらが参戦

兵庫ジュニアグランプリ(JpnⅡ、2歳、11月27日、園田、1,400^円)は、エーデルワイス賞2着のトウカイマシェリ、2勝馬ローズカリスの牝馬2頭が優勢で、以下スペシャルチャンス(北海道)、エコロレーヴ、ラッキーキッド、ゴッドバロック(北海道)の順に有力視され、他にJRAからはストロングボンドも出走予定です。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G2バーレーンインターナショナルT〜ロイヤルチャンピオンが優勝

総賞金100万米^{ドル}(約1億4800万円/1米^{ドル}148円で換算)のG2バーレーンインターナショナルトロフィー(3歳上、芝2,000^米)が、現地11月14日にバーレーンのサヒール競馬場で行われました。勝ったのはイギリスから遠征したロイヤルチャンピオン(騾7歳、父シャマーダル、K.パーク厩舎)。J.ドイル騎手を背に中団でレースを進めると、逃げ粘るG3アレジッドSの勝ち馬ガレンをゴール前で差し切りました。勝ったロイヤルチャンピオンは今年2月のG3ウィンターダービー(オールウェザー2,220^米)で重賞初制覇。その後、7月のG2ヨークS(芝2,050^米)で2つ目の重賞制覇を果たすと、続く前走9月のG1アイリッシュチャンピオンSでもドラクロワの3着に好走していました。

●G1 C.F.オーアS〜ジミーズスターが制す

11月15日にオーストラリア・ヴィクトリア州のコーフィールド競馬場で行われたG1 C.F.オーアS(3歳上、芝1,400^米)はE.ブラウン騎手を背に好スタートを決めた後、中団に控えたジミーズスター(騾6歳、父パーインカント、C.マー厩舎)が差し切り勝ちを収めました。ジミーズスターは今年2月のオークリープレート(芝1,100^米)、4月のオールエイジドS(芝1,400^米)に続く3つ目のG1制覇。2走前のG1ジエベレストはカーインライジングの3着でしたが、前走11月1日のラッセルボールディングS(総賞金300万豪^{ドル}=約2億9250万円/1豪^{ドル}97.5円で換算、芝1,300^米)を勝ってここに臨んでいました。